

オープンデータ利活用による地域課題を考える
ワークショップの成果発表について

区では、現在70項目のオープンデータを公開しているところであるが、データの利活用の普及・啓発と区民との協働の機会の拡充を図るため、平成29年6月より、CodeForTokyoと協働して、「地域課題をオープンデータ利活用で解決するワークショップ」事業に取り組んできたところである。

本ワークショップでは、参加者による福祉や子育てなどをテーマとしたグループ討議による地域課題の洗い出しに始まり、解決策を考えるアイデアソン、解決策を実現するアプリづくりを行うハッカソンを開催してきている。

この度、試作アプリが完成したので、成果を発表する機会を設けることで、ワークショップの取組みを区民等へ周知するとともに、さらなるオープンデータ利活用と協働の推進につなげていくこととする。

1 試作アプリ一覧

テーマ	アプリ名	内容
福祉	Orange Aid	認知症の方の外出を見守る助け合い促進
	お困りお助けレンジャー	高齢者福祉に関する福祉制度等検索
子育て	Happy Child	入園基準等を参照できる保育園情報検索
	乳幼児向け公園検索サービス	子どもの遊び・年齢に適した公園情報検索
教育	コロコロ相談室	自分の将来を考えるコミュニケーションづくり（大人との会話のきっかけづくり）
商店街	シナガワ ShopDiscovery	個人商店単位では取り組みにくい店舗情報の発出

2 発表会の概要

- (1) 内容 ・ワークショップとオープンデータの目的の説明
・参加者による成果物のプレゼンテーション
・来場者向けの試作アプリ体験 など
- (2) 開催日 平成30年2月25日（日）午後1時～5時
- (3) 会場 第三庁舎6階 講堂